令和7年度大分県・東部地区総合防災訓練

目的

大規模災害時における自治体と関係機関・団体の連携強化及び地域住民の防災意識の高揚を目的とする。 県総合防災訓練は昭和52年から実施。県内を6ブロック(概ね振興局単位)に分けて実施。 東部地区では令和元年度以来 6年ぶりの開催。

概要

- ○日 時 11月24日(月·振休) 9時00分~13時00分
- ○会 場 別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町 (メイン会場:杵築中学校グラウンド)
- 〇主 体 実行委員会会長 永松 悟 杵築市長
- ○参加機関

県、市町村、県警、消防、自衛隊、国交省、気象庁、民間事業者、自主防災組織、地域住民 など 約100機関、1,000人以上の参加を予定

〇訓練想定 大雨と地震による複合災害

訓練ポイント

○孤立集落対策の強化

協定団体との連携による道路啓開や、ドローンを活用した情報収集、物資支援、通信設備展開等の訓練を実施。

○被災者支援の強化

要配慮者への支援やペット同行避難等をテーマとした避難所開設・運営訓練を実施。

○応援・受援体制の強化

国や県からの支援物資を円滑に受け入れるため、自治体間や自衛隊、物流業界と連携 した物資輸送訓練等を実施。 (昨年度の訓練の様子)





7

大分県・東部地区総合防災訓練内容俯瞰図

【運動公園多目的グラウンド】

- 〇傷病者搬送
- 〇通信機器搬送訓練、通信応急復旧
- 〇避難所運営
- 〇物資輸送

。姫島村

水色 孤立対策関係 橙色 被災者支援関係

緑色 応援・受援関係

【国見町 岡地区、西方寺地区】

〇ドローンを活用した孤立対策 (情報収集、物資輸送、パトロール)

【武蔵保健福祉センター】

- 〇避難所開設・運営、炊き出し
- 〇物資輸送
- 〇災害ボランティアセンター設置・運営

वा

【杵築中学校】※メイン会場

- ○道路啓開、停電復旧訓練、救助・広域搬送
- 〇孤立集落物資輸送
- 〇避難所開設・運営、炊き出し
- 〇遺体安置(健康福祉センター)
- 〇物資輸送
- 〇災害ボランティアセンター設置・運営
- 〇展示、体験

0国東市

大分空港 🔥

【川崎体育館】

〇災害廃棄物仮置場設置運営

日豐本

- 〇避難所開設・運営
- 〇物資輸送
- 〇災害ボランティアセンター設置・運営
- 〇地震津波避難
- 〇避難広報

o杵築市 213



【別府中央小学校】

- 〇避難所開設・運営、炊き出し
- 〇外国人避難者受入
- 〇車中泊避難者対応
- 〇物資輸送
- 〇展示、体験
- 〇保健医療福祉調整本部会議開催